

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	1	便利な暮らしを支えるまちづくりの推進

事業名	地域計画事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用、都市施設の整備及び良好な市街地の形成に関する計画等の策定を目的とする。
(事業概要等)
都市計画に決定・変更及び都市計画審議会の開催。 都市計画に関する方針の策定。 都市計画に関する縦覧用図面、販売用市域図、地形図及び都市計画図の作成。 各種計画の策定に向けた検討

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,477	17,948	18,413	6,162	
うち市負担分(千円)	11,277	14,398	18,360	6,112	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
用途地域の変更	地区	-	-	-	1
各種計画の策定	件	1	2	1	-
地形図の修正	地区	1	1	1	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
現在の地形図は、現状と異なる箇所があるため、現状の土地利用の状況や都市施設の整備状況に合わせた修正を加え、更新を行った。 また、地区計画の策定を行った。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	
----------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	これまでどおり、住みよいまちづくりを実現するために、法定都市計画基礎調査や必要に応じた都市計画の変更及び必要な計画策定に向けた検討を実施していく必要がある。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	① ②	安全な道路空間の整備 都市計画道路の整備

事業名	泉大津駅西地区周辺整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまちをめざし、駅周辺整備事業を推進することにより、泉大津駅西地区の活性化を促すとともに、景観向上や歩行者の安全性の向上を図る。
(事業概要等)
都市計画道路泉大津駅前通り線の整備、およびその周辺道路である泉大津臨海連絡線、松之浜大津川線、小松原通線における歩行者通行空間の整備を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	107,892	127,241	44,157	380,242	
うち市負担分(千円)	55,412	108,167	33,697	363,442	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
泉大津駅前通り線事業用地の取得率(面積割合)	%	35	37	37	68

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
都市計画道路泉大津駅前通り線は、平成29年度に事業認可を取得し、令和5年度は、昨年度に引き続き物件調査を行って補償算定を実施するとともに、賃借人と立退移転補償契約を締結した。また、事業区間内にある区分所有建物について、管理組合総会の開催を依頼し、用地取得のための議案を可決した。 なお、泉大津駅臨海連絡線と松之浜大津川線、菅原小松町線の歩行者通行空間は、令和元年度に整備が完了している。

### 【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	特記事項無し
----------------	--------

### 【事業の課題】

課題・問題点	国庫補助金の確保
--------	----------

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	都市計画道路泉大津駅前通り線は、令和10年度末まで事業認可期間を延長する予定。用地買収が完了した区間においては、地下埋設物の工事に着手し、歩道の整備を行うなど、事業効果を発揮させつつ、引き続き全線の完成を目指して事業を進める。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	景観形成誘導事業(景観市民会議「景観人の集い」)	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------------------	------	----------

### 【事業の概要】

#### (事業の目的・趣旨)

市民一人ひとりが景観を育てる主人公になれるよう「景観人の集い」を設置し、市内の景観を親しみと愛着と誇りあるものとし、ゆとりとうるおいのある景観まちづくりの実現を図る。

#### (事業概要等)

景観市民会議「景観人の集い」の事務局として活動の支援を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	68	68	68	
うち市負担分(千円)	0	68	68	68	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
歴史こぼれ話の開催(景観人の集い活動実績)	回	3	3	3	3
絵のあるまちづくり(景観人の集い活動実績)	箇所	1	2	0	0
セミナー、ワークショップの開催(景観人の集い活動実績)	回	0	0	0	3

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

令和5年度は、景観人の集いの主催により歴史こぼれ話を3回開催した。また、令和6年度に実施予定である市民を対象とした景観セミナーの準備を行った。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	景観は、魅力あるまちづくりの要因の一つであり、市域の良好な景観形成のためには、市民の景観に対する意識醸成が重要であり、今後も続けていく必要がある。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	住居表示整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
従来の町名地番による住所の表示方法がわかりにくく、市民生活や企業活動に障害が生じるため、住居を表示する方法を合理的に定め、不便をなくし、住みよいまちづくりを目指す。
(事業概要等)
住居や事務所等の施設の所在する場所を、合理的な住居表示の方法によって定める。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	250	251	251	251	
うち市負担分(千円)	250	251	251	251	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
住居表示プレートの発行件数	件	281	249	255	-
(指標を設定できない理由)					
新築届けがあった場合に住居表示を付番する事業であるため、目標値を設定することは困難である。					
(成果の概要)					
新築届のあった住宅に付番通知書と住居表示プレートを発行し、転入・転居時の居住地確認を円滑にし、登記簿等の変更時に必要となる住居表示証明書を発行している。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	新築等による住居番号の届出の際に、窓口での待ち時間を短くするため、また、単純に付番しにくい場合等があるため、あらかじめ、建築住宅課に建築確認や開発の届出のあったものを確認し、付番の予定やプレートの発注を行っている。また、付番状況を市民課などでも随時、確認できるように共有フォルダへデータ化し保存している。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	実施済の区域では、これまでどおり、不便をなくし、住みよいまちづくりを行うため、付番通知書及び住居表示プレートの発行を行い、未実施区域については、住民合意の形成された地域から順次住居表示を実施する必要がある。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進

事業名	まちづくり運営事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)  
 泉大津の風土と文化を活かしたうるおいと活力のあるまちづくりを、市民の自発的なまちづくり活動によって推進するための環境を整える。

(事業概要等)  
 市民のまちづくり会議や女性まちづくり会議に対して、まちづくり事業や計画を策定するため、多様な情報提供等を行うとともに市民の自主的なまちづくりを促進するための環境を整える。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	322	322	443	443	
うち市負担分(千円)	56	47	122	99	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
まちづくり会議開催回数	回	5	4	5	-

(指標を設定できない理由)  
 市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。

(成果の概要)  
 魅力あるまちづくり事業を策定する上で、各地区の風土、文化や景観等の視点から取り組みが行われている。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	今後も定期的にまちづくり会議が開催されるよう支援していく。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進

事業名	まちづくり事務所維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)  
市内南海本線周辺のまちづくりを進めていくため、市民と行政が一体となって議論する場であるまちづくり会議を支援するための、まちづくり事務所を維持管理する。

(事業概要等)  
まちづくりの拠点として、まちづくり事務所を設置。北助松駅周辺地区及び泉大津駅西地区まちづくり事務所は、市が維持・管理を行い、貸し出しについては、北助松駅周辺は地元自治会に依頼、泉大津駅西地区は、市で行っている。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	355	510	536	490	
うち市負担分(千円)	355	510	536	490	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
事務所使用人数	人	2,185	4,193	4,521	4,500
使用回数	回	155	246	216	300

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)  
まちづくり事務所では、市内南海本線三駅駅周辺地区の住民主導の駅周辺地区まちづくり構想の作成など、地域整備の円滑な推進に向けた議論が行われている。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	公共施設適正配置基本計画に基づき、松之浜駅前周辺地区まちづくり事務所の地域移管を令和3年度に実施
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	当初目的としての使用は少なくなっているが、市民団体などの活動の場としては、広く使用されており、まちづくり事務所の位置づけ及び代替施設について検討が必要。また、地域移管に向けた検討・調整が必要。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	緑化推進記念樹等助成事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子どもの誕生や住居の新築又は購入などの人生の節目となる記念日を祝い、記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成することにより、みどりに対して愛着を持ってもらい緑化の推進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
子どもの誕生や住居の新築又は購入の記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成する。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	84	94	130	800	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
助成件数	件	42	47	65	400
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
助成することにより、樹木の購入を後押しし、みどりに対しての愛着の向上と緑化の推進を図ることができた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	従来の市ホームページでの周知に加え、助成事業のパンフレットをロビーや窓口の目立つ場所に置き、事業の周知を図った。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	出生件数から比較すると今年度においても助成の件数が少ないため引き続き制度の認知度の向上を行っていく必要がある。
--------	---

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	より多くの人にこの事業を知ってもらうため、窓口でのチラシ案内に加え、広報紙やSNSにより制度の周知の機会を増やし、改善を図る。申請については既にWEB申込を導入している。なお、議会での議論を踏まえ、事業名称を変更する。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川		公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	プール施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市営プールの施設改修・補修等を行い、利用者にとって安全な状態での開場を目的とする。
(事業概要等)
プール施設の老朽化設備の更新と危険箇所等の補修を実施する。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,002	3,121	68,532	132,622	
うち市負担分(千円)	802	0	0	500	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
整備不良による休業日数	日	13	6	0	0
整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ろ過機等の更新や施設の危険箇所等を補修することで、施設の休業や整備不良が原因となる怪我や事故を未然に防ぐことができた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	助松プールにおいて、施設の老朽化対策や施設内配管の更新、及び、ろ過機等の更新を行いプールの安定的な運営を図った。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	施設等の老朽化が顕著であり、大規模な改修が必要な状況であるため、計画的に改修を行い、利用者の安全と安定的な施設の運営を図る必要がある。
--------	---

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	助松プールにおいて、現在の施設基準に適合した屋外トイレ棟の改修や、古くなった更衣室棟の内部改修について順次着手する。



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	公園維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できるように、適正な維持管理に努める。
(事業概要等)
市管理公園及び広場の清掃、遊具点検、トイレ清掃等を行うとともに、施設の修繕等を実施する。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	45,438	40,016	106,803	124,765	
うち市負担分(千円)	19,221	18,701	102,473	102,140	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
専門業者による遊具点検	回	1	1	1	1
施設の整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
専門業者による遊具点検並び施設の修繕等を適切に実施することにより重大な事故を未然に防ぐことができた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	公園・植樹帯等の包括管理委託業務については、単年度契約から5年間の長期契約に変更し、安定的な維持管理や事務作業の減を図ることができた。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	遊具及び建築物等の公園施設については、老朽化が顕著であり、安全確保の観点から改修等の対応をより進めていく必要がある。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	遊具及び建築物等の公園施設については、老朽化が顕著であり、安全確保の観点から改修等の対応をより重点的に進めていく必要がある。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備

事業名	公園施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
魅力的なまちづくりの一環として、老朽化した公園施設の更新及び公園の再整備を行い、より多くの市民が安心して楽しめる地域の特色を活かした公園づくりを行う。
(事業概要等)
平成27年度に策定を行った公園長寿命化計画に基づく公園施設の更新を行うとともに、令和元年度に策定を行った公園整備マスタープランにより、地域のニーズにあう公園機能の適切な配置を図ることで、安心・安全で魅力的な公園づくりに努める。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	918,415	261,824	2,308,814	157,174	
うち市負担分(千円)	484,459	59,967	1,559,372	23,808	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
公園の改良、施設等整備箇所数	箇所	2	3	2	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
シーパsparkの整備や助松歩道橋の補修・補強工事等、計画的な公園施設の更新及び公園の整備等を行い安心・安全な公園づくりを行うことが出来た。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	事業をより一層進めていくために、社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集中支援事業費補助金の活用を行い、また今後も積極的に交付金等を活用し、事業を進めていく。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	市内公園全体の遊具及び施設等の老朽化が顕著であり、対応に多額の整備費用が必要となる。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	今後も、市内に多数ある老朽化した公園施設の更新の為、公園施設長寿命化計画及び公園整備マスタープランに基づく、年次的な改修や更新、再整備が必要である。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地域環境の保全

事業名	森林環境体験学習推進事業(都市づくり政策課)	担当課名	都市づくり政策課
-----	------------------------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
小学生を対象に間伐材を用いたベンチづくりを行い、公園に設置し、森林環境保全及び環境意識の向上と、公園への愛着を抱いてもらうことを目的とする。
(事業概要等)
間伐材を用いて、公園のベンチを作成することにより、森林環境保全に加え木材の再利用による環境意識の向上を図りつつ、公園への愛着を抱いてもらう。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	252	247	250	252	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
体験学習参加者数	人	0	9	16	20
ベンチ製作数	基	0	10	10	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業を通じて参加者の環境意識の向上を図り、作成したベンチをそれぞれの参加者の校区にある公園に設置することで公園への愛着を持っていただくことができた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	体験学習の参加者募集の周知を従来の広報紙や公式SNSでの広報に加え、新たに主要な公園に参加者募集のポスターを貼り、より多くの人に周知を図った。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	ベンチづくりは多くの間伐材を活用できる利点があるが、一度に作業できる人数が少ないため、手軽で幅の広い年齢層を対象とした体験学習のメニューを検討する。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	他の部局のイベントと合同で実施することで参加者の増加を見込む。また、参加されていない方々がベンチづくり体験を見ることで興味を持っていただき、森林環境保全や環境意識の向上等、イベントの趣旨について広く周知を図る機会をつくる。参加申請については既にWEB申込を導入している。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	2	緑地の確保と親水空間の整備

事業名	みどり維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、適正なみどりの維持管理を目的とする。
(事業概要等)
公園、施設及び市道植樹帯の樹木管理、除草等の維持管理を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	59,645	68,975	79,896	88,937	
うち市負担分(千円)	53,106	47,294	78,169	87,670	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
高木整備本数(剪定等)	本	1,077	1,107	1,117	1,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
枯木等倒木の危険性のある樹木の伐採や、電線を破断させる可能性の高い樹木等の整備(剪定や補植等)を実施し、市内公園、施設及び市道植樹帯の樹木の維持管理を行った。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	公園・植樹帯等の包括管理委託業務については、単年度契約から5年間の長期契約に変更し、安定的な維持管理や事務作業の減を図ることができた。また、直営の現場職員にて行っていた除草道具等の運搬作業について、10月から包括管理委託に組み入れることで職員の作業量の減を図ることができた。
----------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	除草や剪定が必要となる時期が、どの箇所においても同時期となることから、作業が集中し、要望等の対応に追い付かない状況となっている。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	除草作業が追い付かない点に関して、作業員の増員や勤務曜日の制限がない作業体制の構築を図るように委託業者と調整し、みどりの適正な維持管理を目指す。包括管理業務委託に包括できる業務を増やし、より効率的にみどりの維持管理を行うことができる体制を構築する。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	3	市民による緑化推進活動の促進

事業名	緑化推進事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、泉大津市緑の基本計画に基づき、緑あふれる潤いのあるまちづくりの推進にむけて、緑化の推進を目的とする。
(事業概要等)
地域の団体が自主的に実施する緑化等の活動を支援するとともに、生徒・児童等を対象とした絵画コンクール等を開催し、緑化推進に向けた意識啓発を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,210	4,580	4,280	5,316	
うち市負担分(千円)	0	0	938	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
みどりを紡ぐまちづくり絵画コンクール	点	1,879	1,805	1,750	1,900
緑化ボランティア団体	団体	20	22	26	27
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑化ボランティア団体で公園や植樹帯等の緑化・美化活動が行っていただき、公園等利用者にやすらぎや癒しの空間を提供することができた。 また、毎年実施しているみどりを紡ぐまちづくり絵画コンクールへは1,750点の応募があり、多くの子どもに対して緑に対して愛着を持ってもらう機会を提供することができた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	地域の清掃や緑化活動に積極的な方に対して、積極的に緑化ボランティアの制度をPRし、活動団体数の増加を図った。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	緑化ボランティア団体の高齢化が進んでおり、病気や猛暑の影響で参加者が減り、ボランティア活動の休止を検討している団体が増えている。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの推進のため、引き続き、緑化ボランティア団体への支援と絵画コンクールを実施し、多くの人に身近なみどりに触れる機会やみどりを考える機会を創出し、みどりの充実を図る必要がある。